

第9回

日本弁護士連合会主催

環境法に関するサマースクール

日弁連では、環境法系の法曹を志す全国の法科大学院生をはじめとする学生・受験生のみなさんの学びの場として、また、環境法に携わる実務家の知識・経験の共有の場として、今年も環境法サマースクールを開催します。

日時 2018年9月1日(土) 9:25~18:15(開場 9:05)

場所 弁護士会館17階1701会議室 (ライブ会場)
(東京都千代田区霞が関1-1-3)

サテライト会場: 京都弁護士会(他の会場が増えた場合、日弁連 HP でご案内します)

参加対象 法科大学院生・卒業生、司法修習生、法学部生、
司法試験受験生、弁護士、研究者、
自治体及び企業の環境部門担当者 ほか

申込方法 裏面「申込書」にご記入の上 FAX にて
お送りください。メールでも受付しております。

参加費無料
事前申込制(昼食要持参)

裏面・申込書
をご利用ください

プログラム (予定)

- 9:25~ (開場 9:05) 開会挨拶
- 9:30~11:00 講義① 具体的に考える環境(自然・生活)訴訟の問題点
(市川守弘 弁護士)
- 11:10~12:40 講義② 環境法体系とその学び方
(北村 喜宣 上智大学法科大学院教授)
- 12:40~13:20 ~ 休憩 ~
※昼食は各自ご用意ください。
※会館内及び近隣に売店等がありません。事前にご用意ください。
- 13:20~14:50 講義③ 個別環境法を学ぶ: 土壌汚染対策法
(北村喜宣 上智大学法科大学院教授)
- 15:00~16:30 講義④ 豊島公害調停事件とは何であったか
(岩城 裕 弁護士)
- 16:40~18:10 講義⑤ 気候変動を法廷で争う!
~世界の気候変動訴訟の今(福田 健治 弁護士)

